



ソチオリンピック、スキーフリースタイル日本代表 高尾 千穂 選手が練馬区長へ表敬訪問

と き 1月30日(木) 午後1時~1時30分

と ころ 練馬区役所本庁舎5階区長応接室(豊玉北6-12-1)

30日、ソチ冬季五輪(フリースタイルスキー・女子スロープスタイル)に出場する高尾 千穂選手(たかお ちは:尾瀬スノースポーツクラブ所属:練馬区内在住)が志村豊志郎練馬区長へ表敬訪問し、大舞台での健闘を誓った。

日本選手団公式ウェアで訪れた高尾さんは、「初めてのオリンピックで、楽しさと不安が半々です。思い切り楽しんでベストを尽くしたい。まずは予選突破が目標です。」と話した。志村区長は、高尾選手に、「全力でプレーをしてほしい。心から応援しています。」とエールを送った。



高尾選手と志村区長

女子スロープスタイルは、今大会で初めて五輪の正式種目として採用され、日本代表出場選手は高尾選手のみ。高尾選手は平成25年3月に行われたワールドカップ(スペイン大会)では日本人歴代最高位となる4位に入賞しており、五輪での活躍が期待されている。

明日、1月31日(金)に現地へ向けて出発し、競技日は2月11日(現地時間)。

【当日の様子】

懇談では高尾選手から、「区立中学校の時のスキーの移動教室では、まだ初心者のボーゲンで滑っていて、小さなゲレンデがとても広く感じた」と微笑ましいエピソードを披露。志村区長からは、自身もスキーに親しんでいた経験に触れ「スキーはとても楽しいし、奥が深いスポーツだと思う。これまでの努力が成果に表れることを願っています。全力でプレーをしてほしい。心から応援しています。」との励ましの言葉を述べた。

また、高尾選手も大好きという練馬区公式アニメキャラクター「ねり丸」も応援に駆け付け、和やかなムードで歓談が進んだ。

最後に高尾選手は「新種目ということもあり、スロープスタイルでは日本人初の出場。まずは思い切り楽しんでベストを尽くしたい。そして、この経験をこども達や後の世代に伝えたい。」とオリンピック出場への意気込みと、スロープスタイルへの思いを語った。



ねり丸も応援に駆けつけました!

【高尾 千穂 選手】

区内の小中学校を卒業し、現在は区内在住。大学1年(19歳)でスキーの魅力を知る。大学2年(20歳)の冬から本格的に取り組み、23歳でプロスキーヤーとしての活動を始めた。

練馬区内のお気に入りスポットは、練馬区役所本庁舎20階の展望ロビー。「ロビーから見える風景が、とても好きなんです!」と話してくれた

【フリースタイルスキー・スロープスタイルとは】

斜面に設けられたジャンプ台や障害物を滑り、アクロバティックな演技を披露する採点競技。空中の技の難易度、着地の美しさ、独創性を競う。大会コースによって、障害物の種類やコースの全長などは違いがある。

【問い合わせ】 地域文化部スポーツ振興課管理係 電話03-5984-1372